

この説明文書はお薬とともに保管し、ご使用の際には必ずお読み下さい。

肩こり・腰痛・筋肉痛・眼精疲労などの緩和に
ビタミンB₁主薬製剤

グラッドル[®]錠

ヘプロニカート+ボウイ乾燥エキス



製品の特徴

グラッドル錠は、

- ・肩こり、腰痛、眼精疲労などに、また、肉体疲労時・病中病後の体力低下時のビタミンB₁の補給にすぐれた効果をあらわします。
- ・ヘプロニカート及びボウイ乾燥エキスをビタミンB₁剤に配合しました。
- ・“こり”や“痛み”に効果のあるベンフォチアミン(ビタミンB₁)、酢酸d- α -トコフェロール(ビタミンE)を、配合しました。
- ・1日2回の服用で、効果をあらわします。
- ・のみやすい、楕円球状の糖衣錠です。



使用上の注意



相談すること

- 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談して下さい。
 - (1) 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - (2) 本人又は家族がアレルギー体質の人
 - (3) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人
- 次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談して下さい。
 - (1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	胃部不快感、胃痛、悪心・嘔吐
精神神経系	頭痛、めまい
その他	ほてり、むくみ、動悸

- (2) 1カ月位服用しても症状がよくならない場合
3. 生理が予定より早くきたり、経血量がやや多くなったりすることがあります。出血が長く続く場合は、医師又は薬剤師に相談して下さい。
4. 次の症状があらわれることがありますので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談して下さい。
軟便、下痢

効能・効果

- 次の諸症状の緩和：
 - 筋肉痛・関節痛(肩こり、腰痛、五十肩など)、眼精疲労、神経痛、手足のしびれ、便秘
- 脚気
 - 「ただし、これらの症状について、1カ月ほど服用しても改善が見られない場合は、医師又は薬剤師に相談して下さい。」
- 次の場合のビタミンB₁の補給：
 - 肉体疲労時、病中病後の体力低下時

用法・用量

1回下記量を朝夕食後に水又はお湯と一緒に服用して下さい。

年 齢	1回量	1日服用回数
大人(15才以上)	2錠	朝夕2回
15才未満	服用させないで下さい	

成分とはたらき

成 分	分量(4錠中)	はたらき
ベンフォチアミン (ビタミンB ₁)	138.2mg	持続的に作用するビタミンB ₁ の誘導体で、消化管からの吸収がよく、肩こり、腰痛、眼精疲労などにすぐれた効果をあらわします。
ヘプロニカート	100.0mg	体内で徐々にビタミンB群の1種であるニコチン酸に変わり、持続的に末梢血流を増加させて血行を改善し、関節痛・筋肉痛・神経痛などの症状を緩和します。
ボウイ乾燥エキス	240.0mg (防已として3g)	オオツツラフジの茎及び根茎から抽出したエキスで、痛みや炎症をおさえる作用により関節痛・筋肉痛・神経痛などの症状を改善します。
酢酸d- α -トコフェロール (ビタミンE)	100.0mg	血管壁を丈夫にしたり、毛細血管の働きをよくし、体のすみずみの血行を促進することにより、肩こり・手足のしびれなどの症状を改善します。

添加物として、ヒドロキシプロピルセルロース、タルク、炭酸Ca、無水ケイ酸、メタケイ酸アルミン酸Mg、クロスカルメロースNa、ステアリン酸Mg、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、マクロゴール、酸化チタン、白糖、ポリビニルアルコール(部分ケン化物)、セルロース、三酸化鉄、カルナウバロウを含有します。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管して下さい。
- (2) 小児の手の届かない所に保管して下さい。
- (3) 他の容器に入れ替えないで下さい。
(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないで下さい。
- (5) 水分が錠剤につきまると、表面の糖衣の一部が溶けて変色あるいはムラを生じることがありますので、誤って水滴を落としたり、ぬれた手でふれないで下さい。また、服用のつどフタをよくしめて下さい。
- (6) ビンの詰め物は、輸送中の内容物の破損を防ぐためのものです。
開封後は不要となりますので、取りのぞいて下さい。

ワンポイント情報

精神的緊張や運動不足などによって、身体の機能のバランスが崩れたり、また、最近ではインターネットを長時間操作することで、肩・腰や手足などの痛みを感じたり、眼の疲れなどの症状を訴える人がますます増えています。これらの症状は、日頃から姿勢を正しくしたり、適度な運動を心がけるなどでやわらげることが出来ます。日常生活を工夫し、肩・腰や眼に疲れをためないようにすることが大切です。



お問い合わせ先

本剤についてのお問い合わせは、お買い求めの薬局・薬店又は下記までご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

湧永製薬株式会社 東京支社 お客様相談室
東京都千代田区三崎町1-3-12
(03)3293-3363 (ダイヤルイン)
(月～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00 但し祝祭日を除く)



製造販売元

湧永製薬株式会社

広島県安芸高田市甲田町下甲立1624
本社：大阪市淀川区宮原4丁目5-36